

基礎を理解、効率よく

シニアおそうじ塾

掃除は化学であり物理

「掃除歴50年」「20年間毎日掃除しています」という大先輩のシニアの方々とお話しする中で、間違った洗剤の使い方や非効率な掃除をしている方も少なくありません。実は掃除は化学であり物理。学問に近いのです。「汚れ」「洗剤」「手順」について分かりやすく基礎を説明します。

まず①の油分が酸化し、たものには「アルカリ洗剤」。酸とアルカリは正反対の特性です。中和して落とす仕組みです。②の石化したものはアルカリの塊です。もうお分かりですか？

「酸性洗剤」で中和して落とします。③のカビなどは厳密には汚れではなく菌の繁殖なので、これを除菌するためには「塩素系洗剤」が有効です。掃除には「上から下、奥から手前」の大原則があります。浴室なら①換気扇のホコリ②天井③壁面④浴槽⑤蛇口⑥床の順で、最後にドアを拭き上げます。同じ所を2回以上掃除することはありません。掃除機も部屋の奥から、後ろに下がりをしながら出口で終わります。「上から下、奥から手前」。浴室でもビル1棟でも同じです。(おそうじ本舗技術アドバイザー・尾崎真、イラストは中野久美子)

油 = アルカリ
石化 = 酸
カビ = 塩素
混ぜるな危険!!



汚れに効くものと注意事項

まず。油はアルカリ、石化は酸、カビは塩素です。注意していただきたいのは、塩素系洗剤と酸性の洗剤が混ざると危険な有毒ガスが発生することです。使用上の注意に「混ぜるな危険」と書いてあるのはそのためです。